

# 第5 個別戦略に基づき各種管理計画



# 1 収支計画

計画期間における収支については、収益性の向上及び経費節減等による経営の一層の効率化を図ることとしており、一般会計繰入金では平成22年度当初予算に比べ4年間で23億7,422万円の縮減に努めつつも、単年度実質損益の黒字では4年間で7億9,860万円を確保し、将来的には当年度純損益の黒字化を目指します。

【収支計画（病院局計）】

(単位：千円)

区	分	22年度 当初予算	計			期			計画期間 合計
			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		
病院	事業収益	19,562,938	20,545,915	20,685,091	20,750,028	20,841,586			
病院	事業費用	20,281,936	21,105,911	21,431,815	21,458,397	21,391,768			
当年度	純損益	△718,998	△559,996	△746,724	△708,369	△550,182			
当年度	実質損益	371,873	381,956	120,238	110,922	185,487		798,603	
一般	会計繰入金	4,116,259	3,713,536	3,483,035	3,551,385	3,342,865			
22年度	当初比		△402,723	△633,224	△564,874	△773,394		△2,374,215	

【県立中央病院 収支計画】

(単位：千円)

区	分	22年度 当初予算	計			期			計画期間 合計
			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		
病院	事業収益	17,588,672	18,568,197	18,704,676	18,741,836	18,802,555			
病院	事業費用	18,269,867	19,106,671	19,392,594	19,421,748	19,349,154			
当年度	純損益	△681,195	△538,474	△687,918	△679,912	△546,599			
当年度	実質損益	362,928	366,756	143,901	104,522	161,827		777,006	
一般	会計繰入金	3,547,499	3,144,622	2,922,719	2,991,063	2,782,083			
22年度	当初比		△402,877	△624,780	△556,436	△765,416		△2,349,509	

【県立つくしが丘病院 収支計画】

(単位：千円)

区	分	22年度 当初予算	計			期			計画期間 合計
			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		
病院	事業収益	1,974,266	1,977,718	1,980,415	2,008,192	2,039,031			
病院	事業費用	2,012,069	1,999,240	2,039,221	2,036,649	2,042,614			
当年度	純損益	△37,803	△21,522	△58,806	△28,457	△3,583			
当年度	実質損益	8,945	15,200	△23,663	6,400	23,660		21,597	
一般	会計繰入金	568,760	568,914	560,316	560,322	560,782			
22年度	当初比		154	△8,444	△8,438	△7,978		△24,706	

## 2 人材計画

人材計画については、医療機能面や収益面を強化する観点等から、4年間で正職員102人、臨時・非常勤等職員86人、あわせて188人の増員を計画しています。人員増については、収益の増や内部的な配置及び業務の見直し等により、増員を最小限に抑えることで病院局全体の人件費抑制に努め、単年度実質損益の黒字を維持します。

また、人員増により将来見込まれる退職給与金については、今計画期間以降において退職金引当相当分を計画的に内部留保していくことにより、一般会計の負担軽減にも繋げていくこととしています。

更には、職員のスキルアップ、人材育成についても積極的に取り組めます。

【人材計画（病院局計）】

区 分	2 2 年 度 現 員	画 期				計 画 期 間 合 計
		2 3 年 度	2 4 年 度	2 5 年 度	2 6 年 度	
正 職 員（医 師 ・ 看 護 師 等）	1,030	1,074	1,113	1,123	1,132	
前年度増員比		44	39	10	9	102
臨 時 ・ 非 常 勤 等 職 員	203	284	282	287	289	
前年度増員比		81	△2	5	2	86
計	1,233	1,358	1,395	1,410	1,421	
前年度増員比		125	37	15	11	188

(注) 人材計画は、個別事業の取組内容を踏まえて取りまとめたものであり、実際の採用等については、取組の進捗状況等を踏まえ、各年度において個別に判断するものです。また、定年退職者の再任用等により変更があり得るものです。

## 3 投資計画

県立中央病院については、病棟の老朽化等により改修工事等の増高が懸念されるが、高度医療機能を維持しながらも必要最小限の投資とし、建設改良費の縮減を図ることで、企業債残高（借金）の低減に努めます。

【投資計画（県立中央病院）】

区 分	2 2 年 度 当 初 予 算	画 期				計 画 期 間 合 計
		2 3 年 度	2 4 年 度	2 5 年 度	2 6 年 度	
建 設 改 良 費 （救命救急センター除く）	2,713,228 (1,390,228)	1,086,379	998,730	1,070,608	744,270	
院舎改修工事（起債）	552,400	651,102	659,910	607,940	405,450	
医療機器整備（起債）	320,000	320,000	320,000	320,000	320,000	
医療機器（起債以外）・庁用備品	18,320	19,254	18,820	18,820	18,820	
総合周産期母子医療センター	444,515	96,023	123,848			
救命救急センター・ドクターヘリ	1,377,993					
2 2 年 度 当 初 比		△303,849	△391,498	△319,620	△645,958	△1,660,925
企 業 債 償 還 金	1,339,607	1,058,337	987,405	930,651	833,614	
2 2 年 度 当 初 比		△281,270	△352,202	△408,956	△505,993	△1,548,421